

平成30年度農産環境チーム、チーム KEMONO の活動計画について

今月は、当普及センター農産環境チームとチーム KEMONO（野生獣被害対策対応）における活動計画の概要を紹介します。

H30年度計画の主な取組

I 稲作経営の安定化

1 低コスト・省力化栽培技術向上支援

- (1) 直播水稻収量向上支援（八幡平低コスト稲作研究会活動支援）
 - 生育診断圃設置及び収量向上に向けた技術情報提供（年4回）
 - 圃場巡視会、実績検討会開催支援
- (2) 「銀河のしずく」の高品質安定生産支援と栽培適地の検討（八幡平「銀河のしずく」研究会活動支援）
 - 研修会や個別巡回等による技術指導（育苗、追肥、刈取適期判断、県版 GAP 指導）
 - 栽培適地の検討（実証圃設置、6ヶ所：田頭・平笠・野駄・一方井・横田・高梨）
- (3) 低コスト・省力技術の体系化実証（八幡平低コスト稲作研究会活動支援）
 - 高密度播種苗導入事例調査の実施
 - 直播・高密度播種組合せ導入による経営モデルの検証



2 飼料用米専用品種の生産性向上支援

- 収量向上技術支援（栽培研修会等）
- 新品種「岩手122号」の栽培技術指導、多収栽培技術検討

3 水稻優良種子の安定生産（岩手町 水稻採種圃）

- (1) 優良種子の安定生産技術支援
 - 種子生産技術情報の提供、ばか苗病一斉巡回指導等
- (2) 優良種子供給における適正検査の実施
 - 採種圃場確認、圃場検査（1期、2期）、生産物検査



▲八幡平低コスト研究会圃場巡視会

II 野生獣被害防止対策の普及と指導者の育成

1 電気柵等を活用した防御対策の開発実証と普及拡大

- (1) 大規模園芸栽培におけるニホンジカ等対策支援
 - 導入農家の対策状況確認、巡回指導。電気さくの遠隔管理等に係る ICT 活用検討
- (2) トウモロコシにおけるツキノワグマ等対策支援
 - 電気柵設置後侵入された圃場における個別対策指導
- (3) 果樹栽培等における野生獣対策支援
 - 講習会等での情報提供



▲岩手町簡易電気さく設置講習会

2 正しい防御対策の指導並びに作業支援できる人材の育成

- 電気柵新規導入支援（講習会開催、導入後確認巡回）
- 指導者向け研修会の開催

以上、農産環境チーム、チーム KEMONO の活動計画についてご紹介しました。

農産環境チームはチーム名に「環境」とあるように、所内チーム横断で農薬適正使用指導、農業生産工程管理（GAP）推進、農作業安全啓発などの業務も行ってまいります。

台風から農産物を守りましょう！

台風の発生が多い季節になりました。**適切な事前対策**を取り、農作物被害拡大防止に努めましょう。なお、**人命第一の観点**から、台風接近時の圃場見回り等については、大雨や強風が治まるまでは行わないでください。また、大雨等が治まった後の見回りにおいても、増水した水路その他の危険な場所には近づかず、転落、滑落事故に遭わないよう慎重に行ってください。

水稻

- (1) 排水路等にゴミなどが詰まっていると浸水や冠水しやすくなりますので、**排水路のゴミなどを事前に取り除きましょう。**
- (2) 浸水や冠水が予測される水田では、あらかじめ**水尻を開放**し排水を促しましょう。



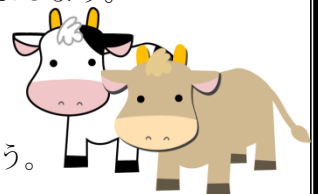
野菜・花き

- (1) 大雨に備え、**排水溝の整備・点検**を行います。特に、圃場外からの侵入水を防止するため、圃場やハウスの周囲に**あらかじめ排水溝を設けて**おきましょう。
- (2) 露地圃場やハウス周囲に防風ネットを設置している場合、緩んでいるワイヤーや針金を張り直し、ネットの破れている部分は補修して下さい。
- (3) パイプハウスは、ハウスバンド（マイカー線）が切れていないか、緩んでいないかを点検するとともに、ビニールの破損があれば補修し、筋かいなどの補強を実施して強風に備えましょう。
- (4) 風が強い場合、**施設を閉め切る**こととなりますが、湿度が上昇して病害が発生しやすくなりますので、循環扇等で空気を攪拌して予防に努めましょう。
- (5) 露地圃場では強風で支柱が抜けたり、倒伏したりする恐れがありますので、畦の両端や畦の所々を補強し、支柱の倒伏・倒壊、株の倒伏を防ぎましょう。
- (6) 野菜では支柱・ネット等への茎や枝の誘引状況を点検し、**しっかり固定**します。花きにおいては、強風による折損や倒伏の恐れがありますので、**支柱やネットの強度を確認**し、補強するとともにネット上げが不十分な場合は適宜**ネットを引き上げ**てください。
- (7) 被害が予想される場合、収穫可能なものはできるだけ事前に収穫を終えましょう。



畜産

- (1) 飼料作物を作付している圃場では、排水溝の点検を行い雨水の排水を促します。特に、とうもろこしは湿害に弱いので**排水対策を徹底**しましょう。
- (2) 停電により、搾乳が出来ない場合を想定して、**発電機の準備や使用方法を確認**しておき、可能であれば貯水タンクに水を確保しておきましょう。
- (3) 強風により畜舎や施設の破損が懸念されます。畜舎周辺を点検し、必要であれば**修繕や補強**を行い、畜舎内に雨水が入らないよう**排水溝の点検**等を行いましょう。



『いわてアグリベンチャーネット』 をご活用ください！

農業技術や病害虫に関する情報、各地域の情報など様々な情報が満載！

『いわてアグリベンチャーネット』で検索！

URL : <https://i-agri.net/>

